

平成 25 年度事業報告書

1. 国際協力に関する講演会事業
 - (1) APIC・カントリー情報早朝講演会の開催
 - (2) 国際協力懇話会の開催

2. 国際開発協力支援事業
 - (1) 太平洋島嶼国開発協力事業
 - (2) 日・カリブ友好協力事業

3. ミクロネシア連邦ザビエル高校留学生奨学金事業

4. その他

平成 25 年度事業の内容

1. 国際協力に関する講演会事業

(1) APIC・カントリー情報早朝講演会（毎月 1 回）

平成 25 年度も下記の通り、外務省審議官、局長クラスの幹部を講師として招き、国際情勢、外交、経済に関する講演と意見交換会を実施した。

回	開催日	講師役職	氏名	演題
305	2014.6.27	外務省北米局長	富田浩司	オバマ大統領訪日と今後の日米関係
304	5.20	外務省特命全権大使（関西担当）	三輪 昭	ブラジルの発展－ゆっくり前進するゆとりの大国－
303	4.17	外務省 南部アジア部長	石川和秀	対 ASEAN 外交
302	3.4	在中国特命全権大使	木寺昌人	最近の中国情勢
301	2.21	（独）国際協力機構（JICA） 副理事長	堂道秀明	ODA 事業の新たな展開
300	1.28	外務省経済局長	片上慶一	2014 年の経済外交の課題と展望
299	2013.12. 5	外務省地球規模課題審議官	香川剛廣	気候変動交渉と日本の役割 －COP19 を総括して COP21 に向けて－
298	10.17	外務省領事局長	上村 司	海外でいかに安全を確保するか －中東北アフリカ情勢を例として－
297	9.6	外務省総合外交政策局長	平松賢司	外交政策の現状と課題
296	7.30	外務省 国際協力局長	梅田邦夫	政府開発援助（ODA）について

(2) 国際協力懇話会の開催

平成 25 年 11 月 28 日名古屋市西区牛島町 名古屋通信会館に於いて愛知県科学技術交流財団共催で第 6 回国際協力懇話会を開催した。

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 長谷川義幸理事による「宇宙開発の今と未来」及び当協会の佐藤嘉恭理事長による「国際情勢と国際協力推進協会の業務」という演題でそれぞれご講演いただいた。

2. 国際開発協力支援事業

(1) 太平洋島嶼国開発協力事業

ディーゼル発電設備メンテナンス研修事業

実施期間平成25年9月2日～12日。PIF加盟16カ国・地域の先進国を除く14の国・地域のうち、サモア、パプアニューギニア、ミクロネシア連邦、ソロモン諸島、バヌアツ、トンガ、フィジーの7カ国及びPacific Power Association Secretariatよりディーゼル発電設備のメンテナンスに従事する技術者を各1名招聘し、三菱重工業株式会社及び大洋電機株式会社に技術研修を委託、参加者から有益であったとの高い評価を得た。

(2) 日・カリブ友好協力事業

カリコム環境政策・行動計画の策定

3カ年計画の3年目となるカリコム地域の「環境政策・行動計画」の地域統一政策を策定する事業については実施機関であるカリコム事務局の事業実施計画が定まらなかったことから外務省カリブ課と協議検討し平成25年度に計画したカリコム事務局への拠出を見送ることとした。

3. ミクロネシア連邦ザビエル高校留学生奨学金事業

明治時代以来歴史的関係が深く、親日的で日本重視の外交政策を展開しているミクロネシア地域との友好関係を一層促進すると共に、同地域の発展のための人材育成を支援することとし、ミクロネシア連邦ザビエル高校からの留学生の日本での就学を上智大学と協同で実施するための「ザビエル高校留学生奨学金」を創設した。

これについては、平成26年4月3日に上智大において当協会・上智大学・ザビエル高校の三者の間において事業施行に関する覚書(MOU)が締結され平成26年秋学期より毎年1名を受け入れることとなった。

なお、これに向けた奨学寄付金の募金活動を平成26年2月より開始した。

4. その他

APIC・カントリー情報早朝講演会及び国際協力懇話会についてホームページを活用して情報の提供及び広報を行った。